

アメダスの観測種目が変わります

～地域気象観測所（アメダス）における相対湿度の開始について～

令和3年3月4日（木）から、地域気象観測所で相対湿度の観測を順次開始します。

気象庁では、気温や降水量等の観測を全国の気象台や地域気象観測所等で実施し、観測データを提供しています。

この度、集中豪雨の予測能力の向上に必要な水蒸気監視能力を強化するため、令和3年3月4日（木）から順次アメダス観測機器の更新を行い、地域気象観測所においても相対湿度の観測を開始します。（別紙1）

また、令和3年3月2日（火）13時以降に提供する日照時間のデータについては、日照計による観測を終了し、気象衛星観測のデータを用いた「推計気象分布（日照時間）」から得る推計値とします。

【対象地点】

別紙2-1、別紙2-2及び、別紙3のとおり。

※気象官署及び特別地域気象観測所は今回の変更の対象外であり、データの変更はありません。

※各観測所における相対湿度観測の開始日は、以下のページ（配信資料に関するお知らせ）で随時お知らせします。

<https://www.data.jma.go.jp/add/suishin/cgi-bin/oshirase/oshirase.cgi>

【参考資料】

[別紙4]気象庁ホームページ上の表示について

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 梅崎・島崎

電話 03-6758-3900（内線 4307・4306） FAX 03-3434-9104

【アメダスの新しい気象計】

アメダスは、降水量、風向・風速、気温、相対湿度の観測を自動的に行います。
雪の多い地方では、積雪の深さの観測も自動的に行います。

(気象計に含まれる主な機器)

- ・ 気温を観測する温度計と、相対湿度を観測する湿度計（通風筒に收容されます）
- ・ 風向、風速を観測する風向風速計
- ・ 降水量を観測する雨量計
- ・ 積雪の深さを観測する積雪計
- ・ 観測データを収集し、計算処理する処理装置

(今までのアメダス気象計からの主な変更点)

- ・ 新たに湿度計を導入します。
- ・ 風向風速計が風車式風向風速計から超音波式風速計に変わります。
- ・ 日照時間については、推計気象分布（日照時間）の推計値に置き換えることから日照計を廃止します。

